

学校通信

ひがしやま

第29号

発行日 令和7年8月28日(木)
発行者 別府市立東山幼稚園
別府市立東山小学校
別府市立東山中学校
校(園)長 谷川 芳明

○児童生徒アンケートの結果について

・1学期末の学校評価のアンケートについては、お忙しいなか、ご協力ありがとうございました。

児童生徒対象のアンケートでは、19の質問項目を、5段階(いつもそうだ～まったくない)で評価、学年ごと、校種ごと、学校全体での集約を行いました。

小学校の肯定的評価に着目。高い順に並べると①学校には、自分の考えや気持ちを分かってくれる仲間がいる。82%②授業では、挑戦と失敗を繰り返しながら、問い合わせや課題の解決に取組んでいる。62%③授業で学ぶことによって、毎日の生活を、自分でよりよくするためにできていることが増えている。59%という結果。中学校では①授業では、自分が必要な時に、仲間と協力しながら学んでいる。55%②授業では、他の人の考え方や意見を学びに生かしている。50%③学校が楽しい。50%。今回、新たな項目を設定するなどしました。児童生徒の状況の把握に努めながら、学習活動等の改善に活かしていきたいと考えます。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

○租税教室の開催について(8/27)

・公益社団法人別府法人会の方々による「租税教室」を6年生社会科の時間に実施しました。事前に税に関するDVDを視聴、その後、2班に分かれて、市長や財政課長等の役割を与えられた児童たちが、税金を使って、豊かな街づくりに挑戦するゲームに取組みました。何を優先するのか、どんなことが住民にとって大切なことなど、白熱した意見が交わされました。税金の目的、使われ方について考える機会にもなりました。



★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

○始業式(8/26)で感じたこと

・「校長先生のお話」という「出番」が、何度かあります。園児、児童生徒の、幅広い年齢層に、わかりやすく話そうと思うのですが、なかなか難しいですね。今回、冒頭、話を聞く姿勢が素晴らしいかった園児を褒めました。あまりに驚いて。前で見渡すとわかるのですが、子どもたちは、集中して、聞くことができる時間が長くなつたと感じます。授業や行事等で、落ち着いて考える、人の話を聞く等、身に付いてきたのでしょうか。